

## ■ 市長から市民のみなさんへ

市長 白井博文



### ■ 「志んはし」でよろしいですか

—昨年7月15日の豪雨で、鴨橋上流の「新橋」が崩落しました。工事着手後、思わぬ障害に出遭い、復旧見込は1年遅れの平成26年3月になりました。ちなみに厚狭川は2級河川で、川は県が管理していますが、市道として架かっている橋は「新橋」も含めて市所有の橋です。この機会に、1車線しかなかった橋を「2車線プラス歩道」のある橋に拡幅する予定です。

ところで、この橋の両側に、「新橋」と「志んはし」の2つの銘板がついていましたが、この度、厚狭高等学校の同窓会から、「この橋は、学を志す生徒たちの通学路であった」等として、復旧後の名称は「志んはし」に統一するよう求める要望書が提出されました。



市の橋ですから、命名は市で決めることができます。みなさん、特に橋を利用される地域のみなさんのご意見はいかがでしょうか。秘書室(☎82-1120)までお寄せください。その結果、反対が少数なら「志んはし」、そうでなければ市で決めさせていただくことでよろしいでしょうか。

### ■ トリプルの表彰を受けます

3月26日、「子ども読書活動優秀実践校・

図書館・団体」の部の文部科学大臣表彰が発表されました。全国で、優秀実践校は73校(他に中学校、高校などあり)、優秀実践図書館は47館、優秀実践団体は51団体です。

山口県では、優秀実践校として厚狭小学校ほか2校、優秀実践図書館として本市中央図書館、優秀実践団体として本市の「おはなし玉手箱」が名前を連ねていて、表彰をほぼ独占した格好です。関係者のみなさんのご努力に敬意を表するとともに、「子ども読書活動の街・山陽小野田市」がさらに発展することを願っています。

### ■ 救急車の利用についてお願い

最近、本市の救急車の出動回数がとても増加して、担当の職員が悲鳴を上げています。増加の原因には、高齢化やこの冬の気候のせいもありましたが、軽症患者が約40%を占めていることも大きな原因です、と小野田、山陽の両消防署は嘆いています。4月から救急車の出動も広域化しましたので、やがて宇部市との比較も出てくることでしょう。必要な市民はどうぞ遠慮なく。でもなんとかかなる方は、必要な市民のために救急車を残しておいてほしいのです。どうぞよろしくお願いします。

対話の日

5月24日(木) 19:00 ~  
須恵公民館